

令和4年度スポーツ庁委託事業

令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト (コーディネーター配置事業) 成果報告書

令和5年3月
NPO 法人スマイルクラブ

本報告書は、スポーツ庁の令和4年度委託事業として、《NPO法人スマイルクラブ》が実施した令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト（コーディネーター配置事業）の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

《ここから事業完了報告の具体的な取り組み等を記載する。》

【本事業概要】

【事業名】

令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（コーディネーター配置事業）」

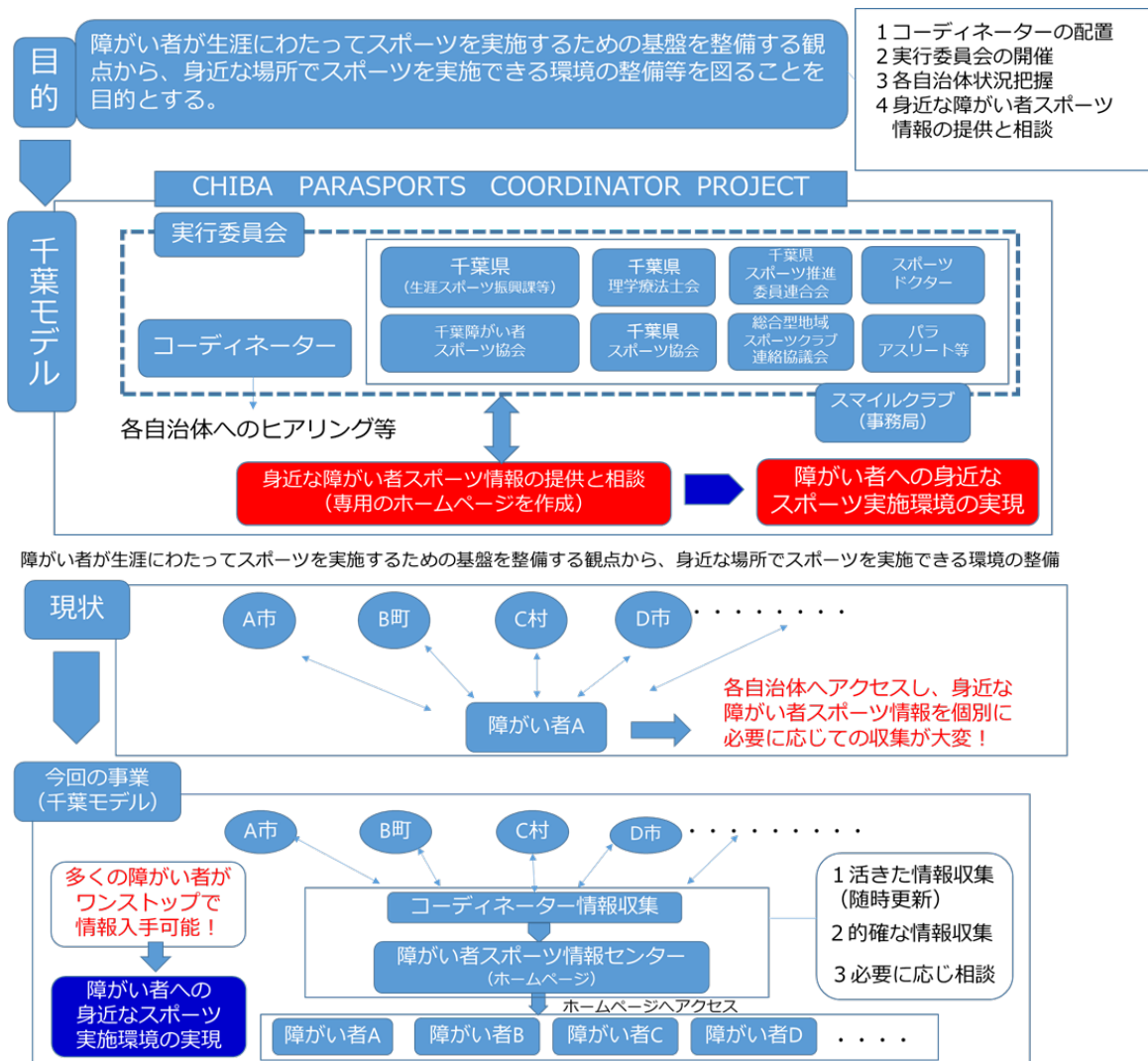
【目的】

福祉・教育・スポーツ関係団体等との連携を中核的に担うコーディネーターを配置し、そのコーディネーターが中心となって千葉県および県内各自治体の、福祉・教育・スポーツ関係団体等と連携し、各自治体等における障がい者を対象としたスポーツ提供体制の把握や関係団体の持つ専門性を整理し、情報共有をおこない、障がい者が生涯にわたって身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図ることを目的とする。

【事業内容】

各自治体での障がい者スポーツの現状をヒアリングさせていただき、障がい者の方々が身近にスポーツができるための情報提供をおこないます。

【全体イメージ図】



【実行委員メンバー】

- 1 コーディネーター（敬称略、順不同）
 - 1) 中島一郎（座長 元国際武道大学教授）
 - 2) 馬場宏輝（帝京平成大学教授）
 - 3) 尾高邦生（順天堂大学准教授）
- 2 千葉県（同上）
 - 1) 高梨知彦（生涯スポーツ振興課）
 - 2) 小野寺崇（千葉県スポーツ推進委員連合会）
 - 3) 福田大輝（千葉県理学療法士会・千葉障がい者スポーツ指導者協議会）
 - 4) 小林千穂（千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長）
 - 5) 前田啓一（千葉県スポーツ協会事務局長）
 - 6) 安藤裕一（スポーツドクター、元国際武道大学非常勤講師）
 - 7) 大浜真（パラアスリート、パラバドミントン元日本代表）
 - 8) 大浜あつ子（NPO 法人スマイルクラブ理事長）
- 3 事務局（同上）
 - 1) 大浜三平（NPO 法人スマイルクラブ理事）
 - 2) 久保田いずみ（NPO 法人スマイルクラブ事務局スタッフ）
 - 3) 田口久美子（編集作業）
 - 4) 添田健（ホームページ作成、クライス企画）

【実施内容】

- 1 福祉、教育、競技団体等との連携とヒアリング等による現状把握
 - 1) 実行委員会の開催（年間6回）
 - 2) 各自治体への障がい者スポーツについてのヒアリング（30市町村）
※ヒアリングについてはコーディネーターが実施
 - 3) アンケートの実施（メールにて）
①総合型地地域スポーツクラブ ②各自治体のスポーツ推進委員団体
- 2 コーディネーター3名の配置
- 3 障がい者本人や家族・支援者、スポーツ関係団体・スポーツ施設等からの相談窓口設置
 - 1) 窓口設置（NPO 法人スマイルクラブ）電話対応（TEL0471694183）
 - 2) ヒアリング内容等すべての情報を、障がい者スポーツ情報センターのホームページ作成（<https://chiba.asic.jp/>）

【本事業実績（目標と達成率）】

内容	目標	実績	達成率	その他
実行委員会の開催 （年間6回）	年間6回	6回	100%	
各自治体へのヒアリング	今年度 30市町村 （全部で 54市町村）	25市町村	83%	目標の30市町村すべてにアプローチしたが、コロナ等により応えていただけない市町村があった
コーディネーターの配置	3名	3名	100%	
ホームページの開設 （ https://chiba.asic.jp/ ）	開設	開設済	100%	
相談窓口の設置	同上	同上	100%	

【本事業のまとめ】

1 結果（達成できたこと）

- 1) 千葉県における障がい者スポーツ環境に関するネットワーク構築。
 - ・「障がい者スポーツ情報センター」の設置（ホームページ、相談窓口）
※URL→ <https://chiba.asic.jp/>
 - ・障がい者の利用しやすさを重視した情報サービス（市町村情報、スポーツ施設情報、関連団体情報、行事・イベント情報、ボランティア情報、等）
- 2) 千葉県下の自治体における障がい者スポーツへの取り組み状況の把握。
※千葉県下全 54 市町村のうち 25 市町村。
- 3) 千葉県下の地域スポーツクラブおよびスポーツ推進委員団体における障がい者スポーツへの取り組み状況の傾向把握。
- 4) 本プロジェクト推進に向けた東京都との連携体制の構築。

2 課題（これからやるべきこと）

- 1) 千葉県下の自治体について、今年度は 30 市町村にアプローチを試みたが、報告書作成に至ったのは 25 市町村（83%）であった。今後は、全市町村網羅に向けた方策の検討が必要と考える。
- 2) 千葉県における障がい者スポーツの環境整備については、自治体間に大きな温度差のある様子が伺え、今後は、この温度差の改善解消を課題に据えた検討が必要と考える。
- 3) 自治体へのヒアリングを通して共通していたことは、障がい者スポーツに関する各種情報の入手方法や連携方法等を簡単に把握できる体制づくりが切実な問題となっており、本プロジェクトへの期待の大きさが伺えた。今後は、こうした期待や要望に応えるべく、コーディネーターを中心として本プロジェクトを展開したい。

【各自治体へのヒアリング具体的内容】

- 1 各市町村のスポーツ推進計画やマスタープラン等について
 - 1) 全体プランでの「障がい者スポーツの位置づけ」について
 - ① 障がい者スポーツはどのように全体プランの中で位置づけられていますか？
 - ② 可能な範囲で予算もお聞かせいただけますか？
 - 2) 具体的事業・活動（事業、講座、教室、イベント等）について（予定含む）
 - ① 企画書、報告書、募集案内、実施要項等可能な範囲でいただくことは可能ですか？
 - ② 組織体制（中心部署や関連部署、協力や連携組織・団体、等）
- 2 人材養成について
 - 1) 障がい者スポーツに関わる人材養成の研修会等の実施
 - 2) スポーツ推進委員やスポーツ関連団体（競技団体、民間スポーツ団体、総合型 SC 等）との連携
- 3 関連機材について
 - 1) 市町あるいは関連部署として保管している専用機材がありますか？
例) 競技用車いす、ボッチャ、等
 - 2) あるとすれば保管はどこにされていますか？ 例) 市の体育館等
- 4 障がい者スポーツ推進に当たっての課題について
(人材、予算、組織、場所等)
- 5 障がい者スポーツ推進に関わる広報について
 - 1) 現在、障がい者スポーツイベント等の案内について、各市町村の広報誌やチラシ、ホームページや SNS 等、具体的にどのような媒体を使われていますか？
 - 2) 各市町村で広報されているホームページや SNS を、スマイルクラブのホームページリンク可能ですか？
- 6 当プロジェクトへのご要望やご意見等

	コーディネーター配置事業2022年度		担当市町村一覧
	中島先生	馬場先生	尾高先生
1	八千代市	千葉市	成田市
2	船橋市	市原市	印西市
3	鎌ヶ谷市	茂原市	酒々井町
4	山武市	袖ヶ浦市	白井市
5	勝浦市	木更津市	柏市
6	大多喜町	睦沢町	流山市
7	いすみ市	君津市	我孫子市
8	館山市	富津市	松戸市
9	鴨川市	大網白里市	野田市
10	南房総市	東金市	市川市

【ヒアリングの様子（館山市）】



コーディネーター中島一郎先生、スマイルクラブ理事長大浜あつ子等が館山市スポーツ課、社会福祉課を訪問



ご協力いただいたスポーツ課（北崎様、井口様）、社会福祉課 庄司様（右）（順不同）

【ヒアリング結果例】（千葉市の場合） その1

【千葉市】

調査実施者：馬場宏輝（帝京平成大学）
調査対象：千葉市市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課
調査期日：2022年8月15日（月）
調査場所：千葉市役所
調査方法：インタビュー（対面）

1. 「スポーツ推進計画」や「マスタープラン」での「障がい者スポーツの位置づけ」について

- ・千葉市基本計画（案）＜2023～2032年度（10年間）＞：まちづくりの総合8分野のひとつとして「文化芸術スポーツ」を整理し、主な取り組みとして「パラスポーツの推進」を計上。
- ・市スポーツ推進計画＜2018～2025年度（10年間）＞：中間見直し時に数値目標に障害者のスポーツ実施率を追加し、パラスポーツの推進に係る事業の新規・拡充を図った。
- ・当初予算において、「パラスポーツの推進」を主要施策と位置づけ予算額を公表している。
（2020年度当初予算：62,424,000円、2021年度当初予算：62,577,000円、2022年度当初予算：81,376,000円）。なお、パラスポーツコンシェルジュの2021年度決算額は22,785,000円。内訳として、人件費17,951,000円、事務費が4,389,000円、パラスポーツ教室開催費が465,000円となっている。

2. 具体的事業・活動（事業、講座、教室、イベント等）について

パラスポーツ教室の開催＜R3スポーツ協会パラスポーツ教室（実績）＞

競技	コース	予定回数	実施回数	対象	定員	申込者数	参加者数
バドミントン	初心者	10	4	13歳以上 知的障害者	15	10	33
フライングディスク	初心者	10	5	10歳以上 知的障害者	15	11	44
バスケットボール	初心者	3	0	13歳以上 知的障害者	15	12	0
計	3	23	9	0	45	33	77

- ・パラスポーツコンシェルジュの運営
- ・パラスポーツ振興補助金
- ・パラスポーツ推進関係者会議：年4回
- ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会：年1回・4日間、25名
- ・パラスポーツ用具貸出
- ・パラアスリート学校訪問：28校（学校からの希望に応じて実施）
- ・大学連携パラスポーツ講座：12大学（大学生を対象とした講座）
- ・パラスポーツフェスタちば：年1回（千葉県との共催）
- ・オープンポッチャ大会：年1回（今年度第3回目、）
- ・スポーツ振興会（千葉市独自の小学校区の任意団体）など地域組織におけるパラスポーツ推進の支援。
- ・千葉市身体障害者スポーツ大会、千葉市ゆうあいピックの開催（保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課が担当。種目、参加者数、協力している競技団体の資料等、別途情報提供あり）。

3. 組織体制（中心部署や関連部署、協力や連携組織・団体、等）

市の組織内では、「市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課」にてパラスポーツ全般を所管している。その他、「保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課、精神保健福祉課」において、全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣や市予選会の開催を所管している。

「教育委員会事務局教育総務部企画課」において、オリパラ教育の一環としてパラスポーツを推進している。千葉市では、全市立学校171校（校数は平成29年4月時点）がオリンピック・パラリンピック教育実施校として認証を受け実施してきた。

市の組織外では、千葉市スポーツ協会、社会福祉協議会、千葉障がい者スポーツ指導者協議会、競技団体や市内を拠点とするパラスポーツチーム等と連携している（具体的には、千葉市スポーツ協会内に設置している、パラスポーツコンシェルジュが調整している）。

なお、関係団体と「千葉市パラスポーツ推進関係者会議」を開催し、定期的に各所属の課題の共有等を行っている。

各自治体のヒアリング結果は、ホームページにも掲載しております！

URL→<https://chiba.asic.jp/>

【ヒアリング結果例】（千葉市の場合） その2

4. 人材養成について

（1）障がい者スポーツに関わる人材養成の研修会等の実施

市スポーツ協会において、地域でのパラスポーツ推進の担い手を育成するため、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催している。
修了者／令和元年：31人、令和2年：27人、令和3年：25人

（2）スポーツ推進委員やスポーツ関連団体（競技団体、民間スポーツ団体、総合型 SC等）の活用等

スポーツ推進委員を地域におけるポッチャ普及の担い手として活動していただくことを目的に、講習会（審判資格の取得講習ではなく、市独自でルール等の確認を行う講習会。学生ボランティアも参加している）を実施した他、市内で開催されるポッチャの大会（オープンポッチャ大会）の審判員として協力していただいている（10名程度）。

市を活動拠点としているパラスポーツチームや競技団体に、小・中学校への訪問、大学での講座、各種イベント（パラスポーツフェスタなど）での体験会開催などの競技普及・障害者理解事業にご協力をいただいている。

5. 関連機材について

市内の拠点スポーツ施設（6カ所：千葉ポートアリーナ、花島公園体育館、宮野木スポーツセンター体育館、みつわ台体育館、古市場公園体育館、高洲スポーツセンター体育館）において貸出しをしている。

競技名	用具
車いすバスケットボール	競技用車いす
こども用車いすバスケットボール	競技用車いす
シッティングバレーボール	ネット・ポール・アンテナ
ゴールボール	ゴール、ボール、アイシェード
ポッチャ	競技用具、簡易コート

上記のほか、教育施設や社会福祉施設などでも専用機材を保管している。

6. 障がい者スポーツ推進に当たっての課題について

- ・障がい者のスポーツ実施率が低い。
（週1回以上運動している障がい者の割合：目標40%に対し、現状値17.3%）
- ・スポーツをする機会（ハード・ソフト）が不足している。
- ・スポーツを支える人（指導者・ボランティア）が不足している。

7. 障がい者スポーツ推進に関わる広報について

- ・ホームページ（市・市スポーツ協会）
- ・広報紙（市政だより・みんなのスポーツちば）
- ・パラスポーツコンシェルジュ通信）
- ・広報紙『ちばしパラスポーツコンシェルジュ通信』2020年9月号（創刊）

※データは2023年2月1日現在

各自治体のヒアリング結果は、ホームページにも掲載しております！

URL→<https://chiba.asic.jp/>

【ホームページについて その1】

URL→<https://chiba.asic.jp/>

◆ご挨拶の画面

障がい者スポーツ情報センター
Adapted Sports Information Center 千葉県

NEWS イベント 市町村 地域スポーツクラブ チーム スポーツ施設 募集 課程認定校・大学 障がい者スポーツ関連資格 関連リンク ごあいさつ

ごあいさつ

◆ 千葉県 / ごあいさつ

NPO法人スマイルクラブ理事長 大浜あつ子と申します。
この度スポーツ庁委託事業【令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（コーディネーター配置事業）】を受けまして、千葉県内の障がい者スポーツの環境整備を目的に、気軽に皆様に障がい者スポーツについての情報が入手できるようにと、今回のホームページをご用意いたしました。

情報については、コーディネーターの先生方（元国際武道大学 中島一郎先生、帝京平成大学 馬場宏輝先生、順天堂大学 尾高邦生先生、順不同）を中心に、各自治体、施設、総合型地域スポーツクラブなど、いろいろなところへヒアリング等をさせていただきながら情報を整理し、皆様にとって使っていただきやすいようにとまとめました。
しかしながら情報内容等不十分などところもありますので、お気づきの点あるいは新たな情報等ございましたら、ご連絡いただければ幸いです。
今後も千葉県の障がい者スポーツの環境整備につとめてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

検索

コンテンツ

NEWS
イベント
市町村
地域スポーツクラブ
チーム
スポーツ施設
募集
課程認定校・大学
障がい者スポーツ関連資格
関連リンク
ごあいさつ

【ホームページの大項目について】

- 1 NEWS
- 2 イベント
- 3 市町村
- 4 地域スポーツクラブ
- 5 チーム
- 6 スポーツ施設
- 7 募集
- 8 課程認定校・大学
- 9 障がい者スポーツ関連資格
- 10 関連リンク
- 11 ごあいさつ

◆スポーツ施設のバリアフリー項目について

(参考 TOKYO 障スポナビ <https://tokyo-shospo-navi.info/>)

- 1 最寄り駅から施設までのアクセスの情報
 - ① 最寄りの駅又はバス停から徒歩 10 分以内である (約 800 メートル以内)
 - ② 最寄りの駅又はバス停から施設までの経路で、横断歩道を渡らずにアクセスすることができる
 - ③ 最寄りの駅又はバス停から施設まで階段や急な坂道が無い
- 2 駐車場の情報
 - ① 駐車場がある
 - ② 駐車場から施設まで階段や急な坂道が無い
 - ③ 障害者専用駐車場がある
 - ④ 駐車場の予約が可能
- 3 施設出入り口の情報
 - ① 出入口付近が平坦、又は段差があったとしても車いすで走行可能なスロープがある
 - ② 出入口付近に点字ブロックがある
 - ③ 出入口付近の階段に手すりがある
 - ④ 出入口に音声案内がある
- 4 施設内の情報
 - ① 施設内が平坦、又は段差があったとしても車いすで走行可能なスロープがある
 - ② 施設内の通路に点字ブロックがある
 - ③ 施設内の階段に手すりがある
- 5 競技エリア・支援等の情報
 - ① 競技用車いすの利用可
 - ② トレーニング室において、車いす等でも移動がしやすいような動線が確保されている
 - ③ トレーニング器具を利用する際、利用方法をレクチャーするなど、障がいのある方からのニーズに対して相談等に応じることができる
 - ④ プールを利用する際、プールサイドへの誘導や入水補助など、障がいのある方からのニーズに対して相談等に応じることができる
 - ⑤ プールを利用する際、車いすのまま入水できるスロープがある。
 - ⑥ プール及びシャワーで利用することができる貸出用の車いすがある
 - ⑦ 障がい者スポーツ指導員の資格を持つスタッフがいる
 - ⑧ 障害がある方が参加可能な運動教室・プログラムがある

この情報については、 URL→<https://chiba.asic.jp/>をご覧ください！